

日本一の水源の郷をめざす道志村



小中学校々舎 建設工事順調にすすむ

- 平成27年6月定例会のおもな審議事項 P2
- 議案等の質疑 P3
- 一般質問（これが聞きたい） P4～7
- 議会活動報告 P8～9
- あの一般質問は・今（福祉センターの運営状況は） P10
- 紹介／がんばる人紹介（民生・児童委員、矢頭山保存会） P11～12

6月 定例会

6月定例会は6月10日から12日まで開催され、報告2件専決処分承認4件、一般会計補正予算、簡易水道事業特別会計補正予算、人権擁護委員推薦の諮問などを審議し、原案通り可決しました。また、4人の議員が一般質問をし、村政の考えを聞きました。

おもな審議事項

● 一般会計補正 2762万円を追加

おもな財源

・国庫支出金	369万円	増
・県支出金	215万円	増
・繰入金（基金より）	2080万円	増

おもな使いみち

・民生費国庫補助金（臨時福祉給付金支給）（※1）	245万円	増
・学校維持費（※2）	1842万円	増
・道路維持費（釜之前道路付け替え）	227万円	増

※1 27年度の住民税が課税されない方が対象で6000円を支給。

※2 学校維持費は学校建設用の木材に不良が生じたため補填する。

● 承認 4件

平成26年度一般会計補正の確定、国民健康保険条例の一部改正、村税条例の一部改正、職員給与条例一部改正について、専決処分（※3）の報告を受けました。

● 報告 2件

平成26年度一般会計繰越明許費計算書、平成26年度簡易水道事業特別会計繰越明許費計算書の報告を受けました。

● 諮問

人権擁護委員候補の推薦について意見を求められました。

※3 専決処分とは議会の権限に属する事項について、町村長が議会に代わって意志決定を行うことである。議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めるときなど





議案等の質疑

本定例会で行った、協議会での質疑の一部を紹介します。



Q 道の駅どうし改修工事は

●景観に配慮したものが望ましいが

A 駐車台数を増やし、国道の渋滞解消が目的ですが、景観についても計画を示して検討します。



道の駅

Q 道志水源基金について

●今年度助成団体と助成額は

A 生活環境保全活動事業に対して3団体740万円、生活基盤向上に資する事業に対して5団体210万円です。



花のある村づくり事業

Q プレミアム商品券について

●消費喚起プレミアム商品券発行事業はいつから実施するのか

A 早期実施を目指していますが準備期間を考慮し8月から実施予定です。



Q 地方創生事業の 進捗状況について



水越茂広 議員

水越

平成27年度当初予算の中に、新長期総合計画策定と、地方創生事業を合わせて検討するために審議委員会設置や事業関連のための予算措置がされておりますが、どの程度進捗しているのか、また、この事業に対して具体的な工程があればお示しください。

A 7月に審議会 を開催

村長

道志村独自の人口減少対策ビジョンを策定しなければなりません。が、「創生総合戦略」と「道志村総合計画」は、同時に作成することが望ましいと考えています。

「地方創生先行型 交付金事業」につき

ましては、道志村に割当てられました交付限度額が2008万円、人口減少対策ビジョン、総合戦略の委託費として76万円を予定しており、残りの1232万円の交付事業については、6月中旬に施策内容を決定し、県、国に申請したいと考えています。

プレミアム商品券の発行については、8月から村民の皆様にお買い求めいただけるよう、着々と準備を進めています。

次に「創生総合戦略」と「道志村総合計画」の策定スケジュールですが、7月には村内の有識者10名程度を選出し、第1

回目の審議会を開催 したいと考えており、

計画書の作成業務についても7月に委託を行う予定となっております。

今後、地区懇談会や説明会を通して、計画を策定したいと考えています。

Q 都留道志線の トンネルの ルートについて

ルート選定には住民のコンセンサスが重要となりますが、いつの段階でどのようにしていくのか。

A まだ構想段階

村長

現時点ではまだ構想の段階でありまして、県の建設部やコ

ンサルなどの専門家、また都留市とも協議の上、地区懇談会や説明会を開催し、村民の皆様にご説明してご意見を伺いたいと考えています。

時期については、ルート案が出てからになりますので、県で調査費の予算がつくなど、本格的に動き出してからのタイミングを想定しています。

「再質問あり」



Q 教育委員会制度改正に伴う村長の考えは



かずとし 出羽 議員

出羽

今年4月から新しい教育委員会制度に移行しました。新制度移行でどのような施策を考えているか

A 小規模校の特性を生かしたい

村長 今後、小学校児童は本年度77名が5年後の平成32年度には58名との試算がでていのように減少傾向にあります。小規模校の特性を生かした、きめ細かな教育と環境整備を推進していきます。

Q 設置が義務付けられる総合教育会議はどのように活用するのか

A 広く意見を聴取する

協議を行うに当たり関係者又は学識経験者から意見を聴くことができるかとされています。

教育委員会定例会等において協議された事項等においては、総合教育会議にあげることはもちろんであります。広く意見等の聴取を行った中で協議・調整等を行いながら、今後の教育と教育環境の推進に活用をしていきます。

Q 教育行政に対する教育長の所信は

A 未来ある子供達のための学校教育を進める

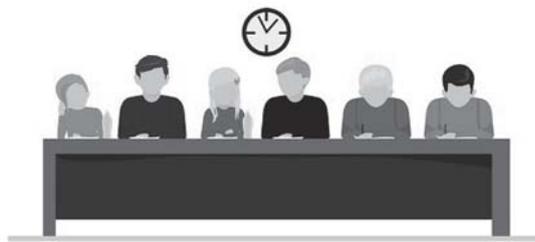
教育長

今回の法改正は、新教育長を置くことにより、迅速な危機管理体制の構築を図ることを含め教育行政の第一義的な責任者を明確にしていることから、教育長の責任は非常に重いと痛感しています。

毎月の定例委員会会議は、議会と同様に傍聴できるシステムになっていますので、会議の透明化を図って行きたいと考えています。

総合教育会議が新たに創設され、教育委員会も構成員として首長の考えや方向性について、協議・調整し共に本村の教育について考えて行きたいと思っています。今後は、学校建設が当分の間、課題と

なりますが、本村のような小規模校ならではの教育を実践し、未来ある子供たちのための学校教育を進めて行きたいと思っています。



村長

平成26年度の実績は16名の方々より175000円の寄附をいただきました。人口減少、少子高齢化に伴い、厳しい財政状況の中、貴重な自主財源でもあるので、魅力的な特産品を開発し、道志村をアピールし、インターネットへの掲載方法等についても工夫したいと考えています。

「再質問あり」

Q ふるさと納税による寄付金の増額を目指しては

A 魅力的な特産品を開発する

Q 国道413号和出村 地内の改良は



たつよし 長田達義 議員

長田

今年3月定例会で国道413号和出村地内改良について質問したところ、非常に重要な課題であると認識しており関係機関と協議を重ね前向きに整備実現に向けて検討して行くこと答弁がありました。その後どのようなようになったかをお尋ねします。

**A 早い時期に陳情書等提出できる
よう進めたい**

村長

国道413号和出村地内改良については、機会があるたびに県に要望しているところで、5月には新たに今後の取組方について相談したところですが、そのときにも継続的に要望してもらおうことが重要であるとの助言もありました。岩瀬からの村道や池之原村道との取付の関係などから非常に難しい路線になります。建設事務所と相談し早い時期に陳情書等を提出できるように進めたいと考えています。

また、村道用地の買収の件ですが、池之原橋の先には公共

施設がたくさんあり、通行止めになると利用者が非常に不便を感じる予感があります。今の橋の隣に新たに設置し、通行止めにするこ

A 6月の後半には

発注

村長

現在森林整備業者

行われていません。現在どのようなになっているのか。

に見積もりを依頼しており、6月の後半には発注して、7月中には施業が完了する予定です。

「再質問あり」

いずれにしても、国道と村道を一体的に進め、安全で使いやすい道路改良を計画したいと考えています。

Q 池之原地区森林整備について

平成26年度で予算のあつた道志中学校前の森林間伐事業が



池之原地区森林整備予定地

Q(株)どうしの経営と 指導方針について



山口

(株)どうしの経営方針並びに指定管理者に対する指導方針について伺います。

①(株)どうしに使用料の減免処置という形をとった事によって、他の指定管理者が「どうせ赤字になったら、なんとかしてくれるだろう。」的な考えになったら、大変なことになると思うのですが、どう考えているのか。

②決算報告書を村民に公開してほしい。

③26年度は赤字でも、27年度は黒字に戻すような改善がされず、いつてしまうようでしたら、新しい経営者の公募をする気持ちは有るかどうかが、3点伺います。

A 経営改善するよう指導していく

村長

①豆腐加工所より減免の要望がありました。豆腐加工所は、なかなか売り上げを伸ばせないでいる現状であります。しかし平成27年度においては売り上げアップを図り経営を改善するよう指導しております。

②平成26年度以降の決算は広報で公表したいと考えています。

③あまりにも経営状態が改善されなかったり、村に過度な負担を求めたりする場合には、別の管理者を公募するなどの対応も必要になってくると考えています。



Q 役場職員の配置について

昨年6月職員の勤務状況について伺いました。今年の勤務状況はどのようなのか。次に、忙しいのは、職員の配置に原因があるのではないかと

いう事です。

4月に行った配置を見ると、去年移動させた人を、一年でまた別の部署に移動させたりしています。その配置が換わりすぎるのが原因ではないかと思うが。

A 適材適所で実施

村長

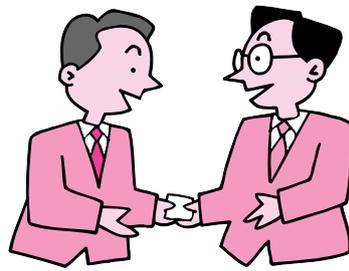
人事異動に關しましては、適材適所で実施しています。

例年4月から1・2ヶ月は、決算期もかさなり時間外勤務が増えることもあり、職員の健康管理等において、しっかり対応していきたいと思います。

職員の配置については、必要があれば1年以内の配置換えをしなければならぬと考えています。

「再質問あり」

報 告



行政視察研修 (佐賀県みやき町・大分県佐伯市)

5月20日～21日

5月20日、「子育て支援宣言」を行った町、みやき町の研修では、とっこい広場・ティアラ・こども未来センターという、子供と子育て世代の皆さんが創意工夫しながら活動している施設を見学しました。

町内には、校区ごとに子育て・子育て応援施設があり、気軽に遊びに行っていて楽しんでいるそうです。

21日は、海・山・里が揃う自然豊かな地で、「食のまち」として有名な大分県佐伯市を研修しました。平成20年、「佐伯市食育推進会議条例」という「食のまちづくり条例」を制定し、市をあげて食育に取り組んでいるということです。

小中学校で年3～5回実施しているという、子供が作る「弁当の日」の普及推進や、巣立つ君たちへの自炊塾(高校生対象)の実施など「食育」を通して人間を育てていくということです。



みやき町こども未来センター見学



佐伯市役所 研修

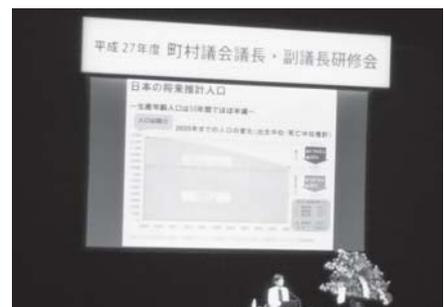
町村議会議長、副議長研修会 (中野サンプラザホール)

5月26日～27日

1日目 ^{ないきしげる}内貴滋先生の「ふるさと創生から地方創生へ」と題した講演の中で地方創生の政策は長期ビジョンと総合戦略の策定から当面のシナリオは今年度補正予算の交付金で計画を策定するというものです。自分達の地域は自分達で守るということでした。問題点の検証をして対策をたて、失敗を恐れず、実行していく事が大切とっておられました。

2部にはシンポジウム「これからの町村議会を考える」と題し5町のパネリストの皆様による、議会活動報告や先進的な考えを聞かせて頂きました。中でも鳥取県日南町の特別委員会発議での条例化助成制度は勉強になりました。

2日目 ^{しらいし ますみ}白石真澄先生の「日本の健康の鍵は“農山、漁村”が握る」、^{あおやまあきひさ}青山彰久先生の「地方創生と政治、経済の展望」による講演を聞きました。



パネルディスカッションの様子

議会活動

リバートレッキング de 婚活 ● 出合いサークル部会

3回目の婚活イベントが決まり、議会も応援することになりました。
皆様の参加をお待ちしています。

日時：8月2日 9:30~17:30

場所：道志川、やまゆりセンター

参加資格：30~45歳くらいの独身男女
各12名

内容：道志川リバートレッキング
：久保キャンプ場にてBBQ

参加費：男性5,000円 女性3,000円

申込方法：申込用紙に記入のうえ役場または、
結婚相談員、議会議員まで



リバートレッキングの様子

コンビニ設置を提言

● 政策部会



政策提言書提出

村内の小売店の経営者も高齢化が進んでおり、その担い手である後継者が少ないため、将来に向けた住民サービスとしてコンビニ設置の要望がある。

コンビニ設置は、若者や観光客のニーズにマッチし利用者の利便性の向上、注文配達による買物弱者への支援、雇用の場の創出などが考えられ、政策部会で検討を重ね村長にコンビニ設置を提言した。

議長活動記

● 山口 博康

平成14年4月に議長に就任して1年2ヶ月が過ぎました。就任時、南北都留郡町村議長会会長および県町村議長会副会長、市町村振興協会理事、市町村総合事務組合理事をともに同時に拝命しました。

横内前知事とも2度会見し、村の状況を話したり、宣伝もできました。また、県下各市町村長、市町村議会議長や県幹部職員とも数多く会見ができ、村の実情を話したり、要望の応援要請を行ったりしました。本年5月で、県・郡の役員を辞任しました。ご協力ありがとうございました。



南北都留郡町村議長会大磯町議会視察



あの一般質問は今...

平成24年6月定例会

質問

指定管理になった福祉センターの運営状況について

答弁

利用契約者の登録数は現在38名ですが、施設規模では50名程度が適当と思われます。

平成25年3月定例会

質問

自然エネルギー政策の推進について

答弁

公共施設等に設置可能か検討していく。

その結果今は



ソーラー発電による街路灯

やまゆりセンター屋根は、設置可能面積が少ないため断念したが、公共施設周辺の街灯や備蓄倉庫の電源はソーラーパネルによる太陽光発電で対応している。



道志茶屋

現在、利用契約者は57名で、1日の利用者は平均14名となっています。また、平成26年度より土曜日の営業も開始しました。

議会の考え

道志村は日照時間等で悪条件のため、費用対効果を検討し推進する。

高齢化社会を迎え、指定管理者との連携で高齢者福祉の充実に取り組む。

村民との触れ合いを大切に！！

道志村民生委員・児童委員協議会

会長 佐藤 高正さん

私たち道志村民生委員・児童委員協議会は15名の者が委員として活動させて頂いております。

活動の内容として、最初に求められるものは、各委員の担当地区の現状の把握と思います。

住民(特に高齢者、障害者、病弱な方等)の健康状態の捕捉、日々の生活が支障なく営まれているか否かを確認すること。もし、何らかの支障が有る場合、対策を講じなければならないが、支障程度によっては役所等の援助が必要となる事態も予想されます。

次なる活動は、社会福祉協議会が実施する行事への参加協力です。

1番目は「ふれあいサロン」机や椅子など並べる会場設定作業の手伝い。昼食時は、先輩方と飲食を共にし、「おしゃべり」を交えての懇談は先輩方の長年にわたり体得した知識、知恵をいただける得難いひとときであります。

2番目は「福祉バザー」バザー販売品の収集には、村民多数の方のご支援をいただき、又販売時にはご協力をお願い致しております。

3番目は「高齢者世帯への訪問」山間集落地での生活は、一般の者でも不便を感じています。高齢者

のみで暮らしを維持するには相当の困難が付きまとうのではと思います。尋ねてみて驚いてしまいました。皆さんお元気で働き、卒寿を超える農作業服の姿を拝見、20数才も年下の我々が却って元気を貰った次第です。

以上大雑把に活動内容を述べました。

私共委員の些細な活動ですが、皆様との「触れ合い」を通し、「住めば都」と思える様に一步でも近づきたいと願っております。

どうぞ宜しくお願い致します。



紹介
しょうかい

民生委員・児童委員会

がんばる人紹介

ふるさとを魅力的にするのは地元のひと

矢頭山（ヤノウサン）をご存知でしょうか？長又地区にある頼朝公ゆかりの史跡の一つです。※試し石、兜岩と近年村で整備してくれたこともあり、訪れる人が増えてきました。長又地区では古くから矢頭山をお祀りしてきました。毎年4月にお祭りをしているのですが、急な坂道を道刈りしながら山頂の祠まで行っていました。そんな時、村で「やってんべー」という補助金制度ができました。平成20年に早手を挙げ、周辺整備をしようということで一致団結し、まずは急坂に階段を作るということから始まりました。4年ほどかけて3百数十段の階段を設置し尾根まで行けるようになりました。23年春は桜の苗を植え、26年には「登山道そっくりモミジ山」を目指して、地主さんの協力を得て伐採を行い、27年春にはモミジ・ミツバツツジを百数本植樹することが出来ました。夢は山一面のモミジ・ミツバツツジです。気の長い話ですのでボランティア大歓迎です。



矢頭山保存会 代表 池谷 勝さん

今後矢頭山から試し石まで遊歩道を整備したいのでご協力お願いします。地区が一丸となって色々活動をしています。一斉清掃のあとで、もりのお宮の屋根の塗装をしたり、先日植えたミツバツツジの廻りの草刈りを行いました。平成25年には村内初の自主防災会も設立することが出来ました。自分たちで行動を起こすことで地元が活性化することを目指しています。（※近年は試し切り石と呼ぶ人もいます。）

写真募集中（議会だよりに掲載させていただきます。）

広報常任委員会
委員長 山口 力
副委員長 杉本 秀明
委員 出羽 和平
委員 水越 茂広

編 集 後 記
新年度を迎え、議会も4年度の6月定例会を終了しました。私たちも、議員として最終年度となります。
3年間を振り返って、まだまだやり残した事が多いと感じています。
人口減少や安心・安全のむらづくり、福祉政策など多くの課題があります。
また、地方創生による地方活性化をどう進めて行くかなど地方（道志村）のアイデアをいかに国に届けるかという問題もあります。
自分なりにもう少し、もがいてみようと思えます。
(山口 力)